

平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市民会館)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	333, 102, 857円(平成28年度、岐阜市文化センターと合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

	H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	
利用者数(単位:人)	58,121	49,793	70,810	38,273	91,332	
各室稼働状況(%)	大ホール	64.4%	32.5%	57.8%	36.4%	57.2%
	展示ギャラリー	33.9%	28.6%	39.1%	26.5%	55.4%
	会議室80	42.9%	37.1%	37.3%	34.1%	45.8%
	会議室48	66.7%	66.9%	67.7%	46.7%	55.4%
	多目的ルームA	47.0%	38.9%	34.8%	29.3%	44.6%
	多目的ルームB	26.2%	35.4%	38.5%	25.1%	45.8%
	練習スタジオ	55.4%	44.0%	28.6%	35.1%	30.4%
	和室	21.4%	21.7%	23.0%	32.3%	30.4%

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②職員9人を配置し、業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふや、フリーペーパー、さらに有料広告を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②戯曲づくりワークショップ&リーディング発表会 ③子ども伝統文化体験教室・発表会(大正琴)&出前講座 ④音楽のおくりもの ⑤第38回ぎふアジア映画祭 ⑥市民スタッフ事業 ⑦市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑧ぎふ演劇ワークショップ ⑨春風亭小朝独演会 ⑩「楽市JAZZ楽団」出前コンサート ⑪市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・10月9日(日) たるいジャズフェスティバル依頼演奏 ・11月3日(木・祝) シネマジズLIVE 入場者数 284人 ・12月23日(金・祝) クリスマス・ジャズ講座 入場者数 330人 ・1月15日(日) 第9回ぎふジャズフェスティバル 入場者数 953人 ・2月11日(土) 東海地域東京事務所連携イベント(協力事業) ②戯曲づくりワークショップ&リーディング発表会 ・1月7日(土) 入場者数120人 ③子ども伝統文化体験教室・発表会(大正琴)&出前講座 ・12月13日(火)出前講座(能楽) 岐阜市立三里小学校 109人 ④音楽のおくりもの ・10月22日(土) 入場者数685人 ⑤第38回ぎふアジア映画祭 ・11月5日(土)～12月4日(日) 入場者数 1,856人 ⑥市民スタッフ事業 ・12月17日(土)「風雲児織田信長」&ゲストトーク ・12月18日(日)「風雲児織田信長」&うたごえ広場 実施 入場者数817人 ⑦市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・1月29日(日) 第21回審査会実施 ・3月12日(日) 第20回採択事業「琉球國祭り太鼓岐阜西濃支部自主公演「響」in岐阜 入場者数 582人 ⑧ぎふ演劇ワークショップ ・2月18日(土)～19日(日) 一般の部 43人 ・3月18日(土)～19日(日) 中学生の部 270人 ⑨春風亭小朝独演会 ・12月24日(土) 入場者数493人 ⑩「楽市JAZZ楽団」出前コンサート ・10月1日(土)岐阜市立常磐小学校 ・11月11日(金)岐阜市立境川中学校 ・2月12日(日)市立岐阜商業高校プラス/バンド部 ⑪市民スタッフ育成事業 ・2月12日(日)出張研修 ウィルあいち(あいち国際女性映画祭) ・3月26日(日)研修 林正子氏
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前5時、午後7時、午後11時)、鍵・扉の開錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病虫害等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・月1回の点検を実施 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・事務所天井照明器具 ・地下駐車場案内標識修繕 ・第一楽屋空調機修繕 ・機械室及び劇場排気ファン修繕 ・スノコリフレクターライト修繕 利用者の利便性向上に繋がる修繕を実施した。 ・大ホール多目的トイレ錠取替修繕 ・雨天駐車場ライン設置 ・ヤマハアップライト修繕

<p>危機管理・法令遵守</p>	<p>①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守</p>	<p>①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルにより、地震や火災、風水害、事故・事件等について、全ての職員が適切に対応できる体制を整え、来館者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。</p>
------------------	---	--

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・11月22日～1月23日までの施設利用者(団体)51団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、51団体からの回答を得た。 アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「当施設を以前から知っていたか」「利用の決め手」「情報媒体」。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(1階集会室ロビー)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○ご利用者カード集計結果 回収総数 45枚(回収率88.2%) 「使用会場」大ホール 17.8%、展示ギャラリー 0%、会議室80 28.9%、会議室48 17.8%、多目的ルームA 22.2%、多目的ルームB 2.2%、和室 2.2%、練習スタジオ 8.9% 「職員の対応」非常に良い 55.6%、良い 44.5%、普通 0%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「敏速な対応」非常に良い 62.2%、良い 35.6%、普通 2.2%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「的確な対応」非常に良い 62.2%、良い 35.6%、普通 2.2%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「館内清掃」非常に良い 60.0%、良い 40.0%、普通 0%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「備品満足度」非常に良い 46.7%、良い 40.0%、普通 8.9%、悪い 2.2%、非常に悪い 0% 無記入 2.2% 「今後も利用したいか」思う 100%、思わない 0% 無記入 0% 「当施設を以前から知っていたか」はい 91.1%、いいえ 0% 無記入 8.9% 「他施設の候補を考えたか」考えなかった 55.6%、考えた 37.8%(他施設…じゅうろくプラザ、ハートフル、ぎふメディアアコスモス、ドリームシアター、ワークプラザ、岐阜県弁護士会、商工会議所) 無記入 6.7% (主な意見) ・様々な要望にご対応いただき、大変助かりました。 ・いつも丁寧な対応をさせていただきありがとうございます。いつも同じ職員の方が対応してくれるので、安心して発表会を行うことができました。これからもよろしく願いいたします。 ・言うことなし。</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して市民会館全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) ・最近特に声が聞こえない。座席が狭くて疲れる。声がよく通るようになってほしい。利用にいろいろ工夫をしてもらっていますが、全体にゆったり傾向にあるのかもしれない。 →ホールの音響、座席の改修工事については技術職員と協議し、市に利用者の要望としてお伝えする。 ・利用料金が、もう少し安くなってほしい。 →利用料金は条例で規定されていることを説明し、現状をご理解いただくよう努めるとともに、市にご要望をお伝えする。 ・保護者の方から駐車場がもっとあると、毎年希望がありますので、今後駐車場が増えるとありがたい。 →ホール主催者には優先的に西側駐車場を使用いただくことができ、その際、主催者の判断にて保護者に駐車場を開放することは可能である。しかし、駐車台数が22台のみで少ないことについては状況を説明し、ご理解をいただいている。 ・2階へのエレベータがあるのは助かりましたが、入口まで車が入れるとすぐ助かります。(ずっと駐車するということではなく)障がい者の方も同様かと思えます。トイレ、水場がきれいになりましたね。和式トイレが残されたのがちょっと不思議です。 →施設の利用状況にもよるが、会場の利用が混雑していない場合は、エレベータの近くまで搬入のために車を寄せる事は可能となっている。またトイレについては、洋式を好まれる方と和式を好まれる方がいるため、両方のタイプを設置している。 ・部屋が寒い。 →温度調整が必要な時は事務所に連絡いただくよう説明を行い、ご理解いただく。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	文化会館の運営上の基本方針	・岐阜市の芸術文化振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	芸術文化事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の芸術文化への参加・参画の促進、芸術文化の普及・啓発、芸術文化を担う人材の育成、優れた芸術文化の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の芸術文化振興の拠点施設として、芸術文化に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	S	S
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	S	S
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備等の整備など)	・接客等の職員研修が実施されているか ・定期的に設備の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
区分評価				S		
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費の縮減について	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをともに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きく離れていないか	A	A	A
		効率的な管理運営を図るための体制について	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館を合わせた管理運営を効果的にしているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	必要な人材の配置と職能及び人材育成の方針	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・また業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	S	S	S
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができていますか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時のマニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができていますか。 ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか。	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか。	A	A	A
区分評価				A		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の社会活動の参加及び地域への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また地域の芸術文化を通じた地域振興に取り組んでいるか。	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

1. 貸し館業務

市民会館大ホールは、昨年度下半期と比べて利用日数が11日減、利用額49万円と減少となった。1月23日(月)～3月15日(水)まで舞台の改修工事を実施し、施設が使用できなかったことが影響したため、利用日数、利用額については減少となったが、それ以外の期間については昨年度より利用額が増加となった。今後も代替施設の少ない1500席の大ホールという優位性を活かして、利用の促進を図っていききたい。各室では、特に、練習スタジオは、昨年度下半期と比べて利用日数が47日増、利用額が約27万円増であったが、これは複数のクラシックバレエ団体による定期利用が、大幅な利用日数、利用額の増加につながった。営業活動としては、3月16日(木)・17日(金)に開催した利用相談会では、製薬会社や建築系の大学や関連会社などを中心に営業を実施した結果、7団体12名が来館された。来館者の中には、会館からDMでの案内があったため見学に参加された方もおり、改めて市民会館を知るきっかけを作ることができた。

2. 施設管理

耐震補強工事は完了したものの、施設は開館50年を経過し、常日頃からチェックとメンテナンスが欠かせない状況である。特に施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定して、すぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と緊密な連携を取り、施設運営をしている。また、利用者の利便性を高め、気持ちよく使っていただけるよう下記のような修繕作業を実施した。

①大ホール下手の男女2ヶ所の多目的トイレの扉の開閉表示が、使用者不在時に使用中の表示が出ていることが時折あった。そのため、操作性が良く誤作動しないものに取替えた。

②大ホールの冷暖房機器は対象がホール客席、楽屋、舞台と広範囲であるため、効率的な空調の運用が難しい。そのため第1楽屋には個別エアコンが設置してあるが、そのエアコンが経年劣化により作動しなくなったので修繕を行った。

③大ホール地下機械室、客席の環境保全や大ホールの空調補助に使用する排気ファンが長年の使用で摩耗・劣化したため、ブーリー、ベアリングなど機械部品の取替え修繕を行い効率の良い運転ができるようにした。

④事務所内の天井照明器具が、取り付け不良のため落下する恐れがあったため、取替修繕を行った。

3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献

①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による「出前コンサート」事業では、地域の学校や催しに赴いて演奏を実施したほか、ジャズフェスティバルのプレ企画としてシネマジャズライブ、クリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。また、第9回ぎふジャズフェスティバルでは雪の中900名を超える集客があり、地域の活性化に貢献することができた。

②「戯曲づくりワークショップ&リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会としてリーディング形式で発表会を開催した。当日は120名の来場があったが、アンケートの満足度も90%を超えるなど好評を得ることができ、岐阜の演劇文化の発展に貢献することができた。

③「子ども伝統文化体験教室」では市内小学校へ能楽出前講座を実施し、約100名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。

④「第38回ぎふアジア映画祭」では、岐阜駅に隣接するハートフルスクエアGにてポスター展を開催し、岐阜市文化センター、岐阜市民会館に加えて柳ヶ瀬のCINEXでも上映を実施するなど、岐阜のまちの賑わいづくりに貢献した。

⑤「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月には一般の部が開催され、名古屋で活躍する劇作家から朗読劇を通して台詞の読み方から演者としての心構えまで指導が行われた。また、3月に行われた中学生の部では、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、県内5つの中学校による発表会が行われ、夏の大会に向けた全体的なレベルアップに繋がった。

⑥「市民スタッフ事業」では、織田信長公岐阜入城・岐阜命名450年イベントとして、「織田信長公」をキーワードに企画立案し、「風雲児織田信長」の上映の実施、特別企画では、初日に「香川京子」さんのゲストトーク、2日目には例年人気の「うたごえ広場」を実施した。また、市民スタッフとともに「織田信長公」ゆかりの地を取材し、付加価値の高い映像を上映することができた。

⑦市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第21回の審査会を実施し、2団体採択となった。採択された事業がオペラの団体2団体だったので、お互い「オペラウィーク2017」といった冠を付け、チケット割引の協力を実施し、公演に向けて両団体が協力できるよう事務局として丁寧に対応した。また、第20回採択事業「琉球國祭り太鼓」が3月に実施され、公演や広報活動のサポートの成果もあってほぼ満席となった。これを機に自力で主催公演を継続されることを期待したい。

⑧「市民スタッフ育成事業」では、ぎふアジア映画祭の映画選定、特別企画の立案の参考になればとの思いで、他地域の先進事例を研修するために「あいち国際女性映画祭」事務局を訪問した。また「市民スタッフ事業」の企画のヒントを得ようと「岐阜」にゆかりの文学者について研究している地元大学の教授を講師として招いて講義をもらった。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>1. 取組み状況 平成28年度上半期に評価いただいた稼働率アップに関して、今期も同様に、展示ギャラリー、多目的ルームB、和室以外は、増加となった。特に、今期は多目的ルームAで試験会場、面接、研修会での用途の利用が増えたため、昨年度に比べ12.2ポイント増加し、練習スタジオでも複数のパレエ団体の定期利用があったことが大きく26.8ポイント増加した。今後も、リピーターへのきめ細やかな対応とともに積極的な営業により、引き続き定期利用の団体を獲得していきたい。</p> <p>2. 貸し館業務・施設管理 上半期には利用者へのきめ細やかな対応について評価をしていただいた。その点は、利用者アンケート調査においても、ほぼどの項目でも「良い」以上で、「今後も利用したい」の回答が100%であったことにも表れている。今後の営業については新規獲得も重要であるが、最近来館されなくなった団体の掘り起こしにも積極的に働きかける。毎年2回実施している利用相談会への案内は、そのいきつけになると思われる。施設の安全については催し中の不具合も発生することもなく、会館を運営していることを評価いただいた。「もしも」を絶えず心に留めながら、今後も経年劣化等による故障や異常に敏速に対応するため、点検と現状の把握、早目の修繕を実施していく。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 上半期には「フォレストコンサートin岐阜」について利用者のニーズを反映した企画としてご評価いただいた。下半期に実施した事業についても、0歳からのコンサートとして「音楽のおくりもの」を実施することで親子でクラシックに親しむ機会を提供し、午前の部についてはほぼ完売という結果をだすことができた。また、「春風亭小朝独演会」についても落語という市民のニーズと合致する事業を実施したことで、チケットは完売となった。その他事業についても市民ボランティアが企画から参加する「市民スタッフ事業」、「ぎふアジア映画祭」を実施して多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。市民参画創造型事業である「楽市JAZZ楽団」事業においても、積極的に地域の学校やイベントの出演依頼を受けることで、地域の文化振興に貢献している。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>1. 貸し館業務 貸し館については、市民会館の利用額の総額は昨年度にくらべ約32万円増加した。市民会館の利用額の約6割を占める大ホールは1月23日～3月15日まで改修工事で使用できない状況にも関わらず、昨年度より利用が増加した。今後もこのペースを維持できるよう、引き続き営業活動に力を入れていきたい。</p> <p>2. 施設管理 ①経年劣化に伴う故障、異常を念頭に置き、こまめな日常点検を実施し、速やかな修繕対応、岐阜市への工事要望を実施する。 ②気候の急な変動など、冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるように、マニュアルに沿って、光熱水料費の節約に努めるように取り組んでいく。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、4月に団員追加募集を実施する。学校への出前コンサートの企画・実施や、第10回ぎふジャズフェスティバルに向けて準備を進めていく。 ②「初心者のためのダンスワークショップ」では、パレエのワークショップ参加者を募集する。7月にワークショップの実施に向けて取り組む。 ③「子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)」の参加者を募集する。8月に練習を実施し、発表会に向けて取り組む。 ④「松竹大歌舞伎」は6月のチケット発売に向けて広報活動を充実し、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑤「音楽の絵本 JIVE」は6月のチケット発売に向けてのPR活動と、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑥「第39回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて、市民スタッフとともに会議を実施し、選定作品・企画を練っていく。 ⑦「市民スタッフ事業」では、月2回の企画会議を実施し、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑧「市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募)」では、5月から企画を募集し、7月に審査会を実施する。また、7月公演の2件の採択事業のPR協力、当日実施に向けての支援をしていく。 ⑨「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部を開催する。 ⑩「岐阜市中学校美術作品展」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑪「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」は6月のチケット発売に向けてのPR活動と、9月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、中高生を対象とする「夏休み体験教室」を8月に開催する。 ⑬「戯曲セミナー」の講座を7月から月2回ペースで実施する。 ⑭「春風亭昇太独演会」については、4月にチケット発売を行い、7月の実施に向けて準備を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。</p>

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

開館50年を超える市民会館において、経年劣化による施設の老朽化が現れる中、日頃から細かなところも含め点検等を行うことで異常を早期発見することができ、軽微な修繕で済むことで、施設運営にも影響なく、事故なく施設運営が行えていることは、評価できる。

全体の稼働率は過去の利用団体の掘り起こしや現在の利用団体と同様の団体等に営業活動を行うことにより、前年度と比較すると増加させることができた。利用者の要望を的確に汲み、練習スタジオ利用者を増加させ、継続利用につなげたことは評価できる。今後も新規団体の開拓などによる稼働率向上を期待する。

各事業においては、新たなチャレンジとして楽市JAZZ楽団事業では、既存の「こーもらんつ23」に所属する20歳以下を中心に構成した「こーもらんつU-20」の立ち上げや「シネマジヤズ」として「ぎふアジア映画祭」と協力することでお互いの事業を盛り上げるなど既存の事業においても新たな試みを行うなど次世代の育成や横断的な事業展開を実施することでジャズに普段触れることの少ない人たちにも、聞く機会を提供するなど文化芸術の振興に寄与している。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設の安全な管理がしっかりとされている。
- ・利用者のニーズを反映した企画を実施する中で、若手層や子どもたちの集客に力を入れるなど、次世代の育成といった取り組みは大事である。
- ・市民からのニーズがあり「落語」など人気があるものは、チケットが完売するなど非常に好評である。引き続き期待している。
- ・市民会館大ホールで、音が聞き取れなかったといった少数の意見があった。確認するよう努められたい。
- ・モニタリングの開催に関し年1回とすることについて、引き続き市は制度の改善を検討されたい。